



みんなで取り組む  
千葉の教育

# 県教委 NEWS

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課  
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1  
電話 043-223-4015

毎月2週目  
4週目頃  
発行予定

Vol.338  
8月-1号

令和6年8月発行

教育長メッセージ…P2掲載

## 令和6年度全国高等学校総合体育大会 ~ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024~ 令和6年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 千葉県選手団の結団式・激励会が開催されました



7月10日、千葉県総合スポーツセンターにおいて、令和6年度全国高等学校総合体育大会「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体2024」及び令和6年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に参加する選手の結団式・激励会が開催され、千葉県選手団607名（水泳競技は7月20日から22日の関東大会後に決定）及び令和6年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に出場する25名が、揃いのユニフォームに身を包み参加しました。

結団式・激励会では、選手紹介、団旗授与、団長の千葉県高等学校体育連盟 都丸 輝信 会長挨拶に続き、千葉県教育委員会を代表して 富塚 昌子 教育長が、千葉県選手団の活躍を祈念して激励しました。代表生徒決意表明では、拓殖大学紅陵高等学校 相撲部 横瀬 陽翔 選手から決意の言葉が述べられました。

総合開会式は、7月28日に福岡県久留米市久留米アリーナで行われ、選手団の旗手は船橋市立船橋高等学校陸上競技部 森田 暖人 選手が務めました。

全国高等学校総合体育大会は福岡県を中心に、佐賀県、大分県、長崎県で7月21日から8月20日まで開催し、全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会は広島県で7月28日から31日まで開催しました。



【挨拶】都丸高体連会長



【選手激励】富塚教育長



【決意表明】横瀬選手



【団旗授与】森田選手

〔問い合わせ先：043-223-4108 教育振興部保健体育課学校体育班〕

# インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
全国高等学校総合体育大会 「千葉県選手団激励会」	1
インデックス&ミニ・トピックス・教育長コラム	2
ちば起業家育成プログラム U25 編	3
災害発生時の心得 ～むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を～	4
オンライン授業配信(エデュオプちば)	5
令和5年度「魅力ある県立学校づくり大賞」 優秀賞: 県立野田特別支援学校	6
子どもと親のサポートセンター 相談窓口の紹介	7
県内学校ミニ・ニュース (匝瑳市立野栄中学校)	8
イベント情報 (生涯学習課・競技スポーツ振興課)	別冊

中学生理科実験教室 kenkashi  
～未来の科学者を育成します～  
(8月1日: 県立柏高等学校)

県立柏高校では、地域に理科好きの若者を増やすことを目的として、近隣地域在住の中学生を対象に理科実験教室を行いました。

本校の生徒もアシスタントティーチャーとして参加者をサポートし、理科について若者同士で学び、語り合いました。

実験後は、校内廊下に掲示してある理数科生徒の「課題研究発表ポスター」を見学し、理科の面白さをさらに追求する良い機会となりました。



県柏生徒と中学生の交流  
(中学生へ県立柏高校の魅力、理数科の魅力を紹介)



実験手順を説明する県柏生と実験に取り組む中学生

## 県教委 NEWS



各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。  
バナーもご活用ください。

## 教育の舞台でつながる思い～教育長コラム～



PEP TALK(ペップトーク)が学校やスポーツ指導等の場で取り入れられていると聞き、講師の方から話を伺いました。PEPは英語で元気、活力などを意味し、相手を励まし、やる気にさせる言葉掛けをペップトークと呼ぶそうです。講師の話の中で「励ます前に、まず相手を受け入れる」ということが印象に残りました。大事な試験や試合を前に緊張や不安で心がいっぱいになっている人に言葉を掛けても心に入っていない。まずは「自信がない」「怖い」など相手のネガティブな感情も受け止めて心に余裕を作ってあげてから、コインをひっくり返すようにネガティブな言葉をポジティブな表現に変換して伝えるのだそうです。なかなか難しいですが、意識するようにしています。

# ちば起業家育成プログラム U25 編

県では、若年層のアントレプレナーシップ向上の支援のため、高校生・大学生等を対象とした起業家育成プログラムを開催します。

本プログラムは、木更津市をフィールドとして開催するもので、9月1日から10月6日までの間の6日間で開催します。

起業の仕組みを学ぶところから、実地調査、インタビューなどを通してビジネスプランを作成していただき、本プログラムに興味がありそうな高校生・大学生等の方へ是非、本プログラムをお知らせください！

※アントレプレナーシップ（起業家精神・起業家的資質）

自ら枠を超えて新しい価値を生み出す力。

起業においてのみではなく、就職して企業等で働く上でも、重要な能力です。

## 1 開催概要

### (1) 内容

全6日間のプログラムを通じて、地域の課題解決に資するビジネスプランを立案していきます。プログラムの特徴は以下のとおりです。

ア 地域の方の話を聞きながら、地域を観察する実地調査（フィールドワーク）

イ ビジネスプラン策定方法や、起業について理論的に学ぶ支援講座

ウ メンターによるビジネスプラン検討支援

### (2) 日程

9月1日・日曜日

9月15日・日曜日

9月16日・月曜日（祝日）

9月23日・月曜日（祝日）

9月29日・日曜日

10月6日・日曜日

※写真は  
昨年度の様子



### (3) 場所

木更津市内（主なプログラムは、スパークルシティ木更津で開催します）

### (4) 対象

原則として、千葉県内在住又は在学の高校生・高専生・大学生・大学院生・専門学校生等

## 2 参加申込方法

オンライン申請により申込

(<https://sites.google.com/taktopia.com/entrechiba-develop-2024>)

※8月16日（金）まで（応募多数の場合、選考）

お問い合わせ先：商工労働部経営支援課  
電話 043(223)2712

## 災害発生時の心得

# ～むやみに移動を開始せず、 落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、学校や外出先から自宅へ帰ることが困難になることが予想されます。

災害発生時に多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があるほか、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げとなります。

### ！ 災害発生時には「むやみに移動を開始しない」

- まずは自分の身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまりましょう。
- 災害用伝言サービスにより、家族の安否や自宅の無事を確認しましょう。  
(毎月1日と15日、防災週間(8月30日～9月5日)などに体験利用ができます。)
- 交通情報や被害情報などを入手しましょう。

#### ☆ 災害用伝言サービス

- ・ **災害用伝言ダイヤル(171)**は、災害時に、固定電話、携帯電話等の電話番号宛に安否情報(伝言)を音声で録音(登録)し、全国からその音声を再生(確認)することができます。
- ・ **災害用伝言板**は、携帯電話等のインターネット接続機能により、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話等の番号をもとにして全国から伝言を確認できます。
- ・ **災害用伝言板(web171)**は、パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話の電話番号を入力して安否情報(伝言)の登録、確認を行うことができます。

### ！ 日頃から準備しておきたいこと

- 事前に家族などと発災時の安否確認の方法や集合場所を話し合っておきましょう。
- 職場などに、飲料水や食料、懐中電灯、手袋、携帯ラジオ、地図、運動靴、マスク、除菌シートなどを用意しておきましょう。
- 徒歩やバスにより帰宅経路の状況を確認しておきましょう。
- 携帯電話の充電器やモバイルバッテリーなどを持ち歩きましょう。

#### 徒歩帰宅者支援の取り組み

千葉県を含む九都県市※では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援に関する協定を締結しています。

これらの店舗では、災害発生時に水道水やトイレの提供のほか、道路交通情報などを可能な範囲で提供していただけます。こうした店舗には、「**災害時帰宅支援ステーションステッカー**」(右画像参照)が掲示されていますので、日頃から帰宅経路の店舗の場所を確認しておくことで安心です。

※ 九都県市：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市



↑ コンビニエンスストア等



↑ 千葉県石油商業組合に加盟する県内のガソリンスタンド

☆本件に関する問い合わせ先：防災危機管理部危機管理政策課 Tel：043-223-3404

# オンライン授業配信（エデュオプちば）

令和6年6月から、学校を長期に欠席している中学生の皆さんに向けて、自分の教室にいなくても授業が受けられるオンラインでの授業配信をスタートしました。

様々な理由で学校に登校できていない生徒の皆さんの学びの場として、ぜひご活用ください。

★対象	県内の中学校（義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程を含む）に在籍する生徒及び千葉県在住の中学生で、不登校の状態（※）にある方 ※目安として、 <u>昨年度30日以上</u> の欠席または <u>今年度連続して欠席しており、現在も自分の教室で授業を受けられていない生徒</u> （欠席の理由は問いません）
★授業内容	オンラインによる双方向型の授業 国語、社会、数学、理科、英語の5教科
★学習場所	自宅、教育支援センター、フリースクール等、インターネットにつながれば場所は問いません
★リアルタイム配信期間	長期休業期間を除く平日 ※今年度は、8月19日～23日、8月26日～30日までの間、5教科以外の夏期特別講座を実施します。
★必要なもの	インターネットにつながるパソコンやタブレット、申込等に使用するメールアドレス
★申込方法	ちば電子申請サービスより申込 ※お申込みは、保護者の方をお願いしています。 ※申込み後、在籍の有無や出欠状況について学校等へ照会しますので、ID等を付与するまでお時間がかかる場合があります。

オンライン授業配信の詳細につきましては、こちらをご覧ください。

県ホームページ：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/jisei/seitoshidou/eduoppnet-chiba.html>

⇒ 動画での説明がありますので、ぜひご覧ください。



県ホームページ

## 【お問い合わせ先】

千葉県教育庁教育振興部  
児童生徒安全課不登校児童生徒支援室

E-mail：[futoukou-shien@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:futoukou-shien@mz.pref.chiba.lg.jp)

F A X：043-221-6570

※お問い合わせにつきましては、電話がつながりにくくなることがありますので、メールまたはF A Xをお願いします。



メールアドレス



チーバくん

地域で共に学び育つ交流及び共同学習の推進

千葉県立野田特別支援学校

本校は東武野田線（通称：東武アーバンパークライン）愛宕駅から北東に約2キロに位置し、近隣には小中学校があり、開校当初から学校間交流を行っています。

平成元年に野田市を学区とした知的障害の特別支援学校として開校しました。開校当時は、小中高等部の児童生徒数は67名でしたが、現在は約2.3倍の157名が在籍しています。また、令和4年度より「総合的な教育課程を有する学校」として、知的障害に加え、肢体不自由の障害種が追加されました。

本校が今回「魅力ある県立学校づくり大賞」へ応募した内容は、共生社会の実現を推進する一つの方法として学習指導要領に挙げられている「交流及び共同学習」の一つである居住地校交流を発展させた『副次的な籍』を用いた居住地校交流システム構築を、千葉県で初めて取り組んだものです。

概要は、野田市在住の児童生徒が、本校に学籍を置いたまま地域の小中学校に『副次的な籍』を置くことで、障害のない地域の児童生徒と共に学びあう機会を増やすことで、互いを認め合い、尊重し合う共生社会の実現を目指しています。

今年度は、8名の児童生徒（小学部6名、中学部3名）が、居住地校交流を行っています。居住地校交流を行った児童生徒や保護者からは「楽しかった。」「早く次をやりたい。」「普段と違う子供の姿が見られた。」などの感想が聞かれています。また、小中学校の教員からは「交流をやってよかった。」や「何度も交流しているので心配はありません。」「〇〇の部分で成長が見られますね。」など、好意的な話が多く聞かれました。

野田市との連携では、野田市教育委員会と連携をしながら『副次的な籍による交流教育実施要綱』を作成し、野田市におけるインクルーシブ教育システムが更に推進されるよう取り組んでいます。

今後、野田市では就学の段階で「副次的な籍」についての希望を保護者・本人からとることになります。より多くの児童生徒が地域の小中学校で共に学び、地域の一員として育つために、リーフレットの作成や研修会等での周知の機会をより多く設けていきます。

本校は、これからも障害の有無に関わらず、全ての子供たちが、生き生きと自分の力を発揮しながら、互いを認め合える共生社会の実現のために積極的に取り組んでまいります。御期待ください。



Tスローでの直接交流



Webシステムを活用した間接交流

# いつでも、ご相談ください

千葉県子どもと親のサポートセンターの相談窓口について、ご紹介します。

①SNS相談 ②ワンストップ・オンライン相談 ③電話相談

夏休みを迎え、当センターでは相談事業の強化を行っております。

## ◆SNS相談 ※8月23日～9月7日は毎日相談実施中！

面と向かっては相談できないこと、思い悩んでいることがあれば、お気軽に相談してください。専門のカウンセラーが、みなさんの悩みに応えます。

◇実施日 毎週火曜日・木曜日・日曜日 午後6時から午後10時まで



SNS相談 二次元コード

◇相談方法 右上の二次元コードでLINEアプリを読み取り、友だち追加してください。  
メッセージを送ると、専門のカウンセラーが相談に応えます。

## ◆ワンストップ・オンライン相談

本年度より、Zoomを使った新たな相談窓口を開設しました。

オンラインで予約を受け付けています。音声またはチャットで相談できます。

画像はオフでも大丈夫です。

オンライン授業配信（エデュオブちば）とも連携しています。

◇対象 千葉県在住、在学の十代の若者

小学生から高校3年生くらいまで 若年無業者を含む

◇内容 （相談時間） 月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで  
1回40分、1日7コマ Zoomを利用

◇申請手順 子どもと親のサポートセンターホームページで1か月前からWeb予約受付可  
当日予約も可

◇ホームページのURL：[https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve\\_online](https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online)



ワンストップ・オンライン相談  
二次元コード

※予約に空きがあれば、保護者の方、学校の先生方のご相談も受け付けています。

## ◆電話相談

24時間対応をしています。学校生活に関すること、心や身体のこと、その他の心配事などお気軽にご相談ください。

◇電話番号 0120-415-446



千葉県子どもと親のサポートセンター  
マスコットキャラクター  
こざぼん

# 県内学校ミニ・ニュース (匝瑳市立野栄中学校)

本校は昭和39年に開校し、創立60周年を迎えます。平成26年に新校舎が完成し、北総管内でも有数の敷地面積を誇っています。

学校教育目標「志高く 自主的に行動し 成長を続ける生徒の育成」を全職員、生徒が意識して教育活動に取り組んでいます。

## (1) 自主的に取り組む生徒会活動

生徒会本部役員の挨拶推進運動、全校集会、全校レクの運営等、生徒の思い、アイデアを行動に繋げられるよう支援しています。また文化報道委員会の昼の放送（自分たちで放送内容を考える）や環境委員会の朝の玄関清掃など自分たちで良いと思ったことをやる姿勢を大切にしています。



## (2) 技術・家庭科で稲作を実施

令和5年度より、技術分野の授業で稲作を行っています。グラウンド脇に場所を確保し、土作り、田植え、水管理と除草、稲刈り、乾燥等を地域の農家の方に指導を仰ぎながら2・3年生で取り組みました。全ての行程を体験することで、米づくりの大変さや、やりがいを肌で感じることができています。



## (3) 地域の活動に無理なく参加する

匝瑳市で毎年行っているチューリップ祭りに参加しています。校内での栽培活動（園芸委員会）、球根植えや、会場での販売活動（有志）を行っています。その他地域のボランティア活動等にも参加者を募集し、多くの生徒が参加します。「無理なく、自分のできることをやる」を合言葉に持続可能な活動を目指しています。

